

### (3) 読書感想交流

## 個性を伝え合う読書感想文交流

新宿区立西新宿中学校 編



実践事例	
1	<b>実践した教科・領域等</b> : 国語科
2	<b>対象学年</b> : 1年
3	<b>活用した書籍情報</b> : 「さつき」伊集院静（光村図書『国語1』）
4	<b>読書活動の実践の概要</b> : 全6時間 ① 書感想文の受賞作を読み、良い読書感想文の特徴（自分自身のことについてくわしく述べている点）に気付く。 ② 「さつき」を通読し、新出語句の意味を確かめる。 ③ 「さつき」の中から印象に残った場面を選び、それぞれの場面について、以下の設問に沿って、自分自身について書く材料を集める。 ・印象に残ったのは、どの人物が、何をした場面か。 ・その人物は、そのときどんな考え（気持ち）だったと思うか。 ・自分自身は、その人物と似ているか。あるいは、似ていないか。 ・そのような自分の性格がよく表れている体験などの具体例。 ・今後の生活に向けて、その場面で学んだことや、考えを深めたこと。 ④ 集めた材料のどの内容を、どういう順番で感想文に書くのかを、表にまとめながら決める。 ⑤ 漢字や表記、原稿用紙の使い方などに気を付けながら、感想文を書く。 ⑥ 書いた読書感想文をお互いに読み合いながら、相互評価を行う。
5	<b>活動のポイント</b> ① 3時の段階で、お互いに考えたことを示し合い、思い付けない生徒の発想を促す。 ② 第4時の段階で、書き出しと結びの内容については、さまざまな感想文の例を参考にしながら、実際に書く言葉で考えさせる。 ③ 第6時の段階で、感想文と評価シートをセットして、回し読みをしながらコメントを書き込んでいき、最後にはクラスメイトからの評価が各自の元に戻るようにする。
6	<b>留意点</b> ① あらすじよりも自分自身のことを、体験などを交えながら詳しく書かせる。 ② 作品中から場面を選ばせる際には、作品の盛り上がりや作者の思いが強く感じられるものなるべく選ばせるようにする。
7	<b>連携した諸機関</b> 特になし